

10/13  
(金)

ポータブル電源寄贈

**災害時の活用へ大いに期待**

10月13日、役場で株式会社九電工（福岡県、石橋和幸代表取締役社長執行役員）鹿児島支店から本町にポータブル電源1台の贈呈式が行われました。

これは同社が地域貢献活動を毎年10月に行う「さわやかコミュニティ旬間」の一環として実施しているものです。

川添町長は「災害の多い町なので、とても助かる。災害時、電源を必要とする箇所への活用が大いに期待できる」とお礼のことばを述べました。

このポータブル電源は、電池容量が1597Whで、

川添町長に目録を手渡す東利明出水営業所長(写真左)



スマートフォン130台相当の充電が可能で、災害時の非常用バッテリーなどに使用する予定です。

10/17  
(火)

コスモス植栽ボランティア

**美しい景観の向上**

10月17日、建設コンサル会社などによる、植栽ボランティアが開催され、「石積みと花のまち長島町」をテーマに71社174人の参加者が、町内の沿道でコスモスの植栽を行いました。

川添町長は「このボランティア活動にたくさんの参加者が集まって頂きとてもありがたく思う。本町はさらなる景観の向上を目指している。今後ともぜひ協力をお願いしたい」とあいさつしました。

参加者らは、本町の景観を楽しみながら、爽やかな秋空の下、懸命に汗を流しました。

景観を楽しみながら植栽を行う参加者

10/18  
(水)

川床中学校郷土料理教室

**地元講師に教わる郷土料理**

10月18日、川床中学校（西元ひとみ校長・47人）で、郷土料理教室が行われ、3年生11人が地元の郷土料理名人、福寄エツ子さん（川床中）ら3人を講師に招き、県の郷土料理のふくれ菓子とガネ作りに挑戦しました。

この教室は、地域住民と生徒が互いの良さを気付き合い、絆を深めることを目的としています。

教室では、郷土料理をおいしく作るため福寄さんの工夫が生徒らに伝授されました。ふくれ菓子は、全体がふっくら仕上がるように蒸し器に工夫が施してあり、ガネは歯ごたえを出すために具材

講師に教わりながらガネを揚げる生徒ら



を大きめにカットして料理していました。

榎元<sup>あやな</sup>絢菜さんは「郷土料理を作り知る事で、ふるさとの良さを再発見し、地元の講師に教えてもらえる貴重な体験ができて良かった」と地元講師との交流を喜んでいました。